

1 学校教育目標

- すすんで学ぶ子
- 仲よく助け合う子
- じょうぶな子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	○児童が明日を楽しみにし、学びたくなる、明るく楽しい学校 ○保護者や地域の方々が明日を楽しみにし、通わせたい学校…「オール中島根」 ○教職員が明日を楽しみにし、協働し、充実感と誇りをもてる学校…「チーム中島根」
○児童・生徒像	○すすんで学ぶ子…自ら学ぶ力や判断力、自己責任を果たす態度や協力する子 ○仲よく助け合う子…多様な考えを認め合い、他を思いやる心を身に付けた子 ○じょうぶな子…運動に親しみ、心身を鍛え、健康で安全な生活を目指す子
○教師像	○児童を愛し、児童から愛され、人間味あふれる教師 ○保護者、地域から信頼され、自ら社会の一員として活躍する教師 ○連携を意識する教師集団「チーム中島根」※服務…サービスの遵守

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

[学校の現状]

- 良好な自然教育環境に恵まれ学習に生かしている。
- 児童はおおむね落ち着いて授業に取り組み、生き生きと活動している。
- 主幹教諭2名、主任教諭6名、本校初任者8名、うち新規採用1名、育休代替1名。
- 保護者はおおむね学校に協力的である。開かれた学校づくり協議会はじめ地域の方々も共に環境維持や交通安全見守りが実施されている。

[前年度の成果と課題]

重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

- 成果 前年度学力状況調査の通過率全校平均国語 72.0%（前年度より+3.0%）、算数 72.5%（前年度より-1.8%）
- 課題及び解決の方向性 基礎的・基本的な学習内容の定着だけではなく、総合的に解決しようとする意欲の醸成と最後まで取り組む姿勢の確立を目指す授業改善を行うことにより、確実な学習の積み上げを図る。

重点的な取組事項－2 健全な心身づくり

- 成果 コロナ禍で休み時間に行っていた運動量の確保ができず、体育の時間を中心に実施可能な体力向上策を考え実践した。
- 課題及び解決の方向性 実施可能な運動の系統性を明らかにし、全学年において必要な運動量の確保を共通認識し実践する。

重点的な取組事項－3 持続可能な開発のための教育（ESD）

- 成果 コロナ禍で児童の活動の制約はあったが、生徒間の交流はできなかったが、六月中・保木間小学校と地域と共に学力向上等について共通認識できた。
- 目標実現に向けた取り組み ・学力に関わる交流 ・児童、生徒に関わる交流 ・その他の交流

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間（年度） H:平成 R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	健全な心身づくり	○	○	○	○	○
3	持続可能な開発のための教育（ESD）		○	○	○	○

5 令和2年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
基礎・基本の定着と活用する力の伸長		国語80%以上算数80%以上 2月に2年度版学力調査実施 到達目標 国語85%以上 算数85%以上							
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクション プラン	対象教科 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
新規	ICTの活用	全児童 全教科	毎日	【指導者体制】担任・副担任 ICT担当 【取組のねらい・目的】 学習内容の習熟・情報収集 【使用教材】 eライブラリ・自作ドリル	個別リストによる取組み 確認	一日一回以上 家庭での実践 eライブラリ等 自己選択課題を 10分程度			
継続	パワーアップ タイム	全児童 国語・算 数	毎日 中休み 15分間	【指導者体制】担任・副担任 【取組のねらい・目的】 学習内容の習熟 【使用教材】 漢字・計算等のプリント・問 題集・東京ベーシックドリル	丸つけ、回収 時、担任による確認 正誤の確認を 時間内に行 い、全校共通 の所定の個別 ファイルに蓄 積していく。	どの児童についても、毎回、プリント等の正答率80%以上 未到達の問題の類似を取り上げ、繰り返し取り組ませる。			

新規	視写	全児童 全教科	毎日	<p>【指導者体制】 担任・副担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 読み取る力の育成</p> <p>【使用教材】 作成プリント・教科書等</p>	児童による相互評価、担任による確認	学年相応の文字数の視写の積み重ねに取り組む。90%以上			
継続	放課後補習教室 (ハッピータイム)	<p>全学年対象児童 全員 →個別</p> <p>学力調査 正答率 80%以下の児童 他</p>	<p>原則 毎週 火・木 ※行事・ 会議等 がある 日を除く</p>	<p>【指導者体制】 担任+専科 +学習支援員講師+管理職 +学生ボランティア</p> <p>【取組のねらい・目的】 既習事項の個別のつまずきをさかのぼり、演習を中心に個別もしくは少人数指導し、みとりの方法を工夫する つまずきのある児童を対象とするのみならず、活用力向上のために目標値を十分に超える児童を対象とした回も設定する パワーアップタイムとの連動を図る</p> <p>【使用教材】 学力調査過去問題プリント 東京ベーシックドリル等</p>	<p>・定着度確認テスト (区学力調査過去問題) 9月・2月実施</p> <p>・九九定着確認</p>	<p>区の目標値通過</p> <p>活用力を見る問題の正答率の向上</p>			
継続	基礎・基本の時間	全児童	<p>原則 毎週水曜日 1時間 目</p>	<p>【指導者体制】 担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 学習内容の基礎的な内容の復習。確認。</p> <p>【使用教材】 漢字プリント、うでだめシート、次へのステップ、東京ベーシックドリル 等</p>	<p>丸つけ、回収時、担任によるチェック 定着度確認テスト (区学力調査過去問題) 2月実施</p>	区の目標値通過			

継続	サマースクール	全学年 国語・算数 各学年 約20名 程度。	夏休み 期間中 の 10日 各日 60分	<p>【指導者体制】 担任+専科+中学生学習ボランティア</p> <p>【取り組みのねらい・目的】 担任、専科による少人数指導のもと進める。前学年、前々学年等、既習事項のつまづきを漢字プリントやベシックドリルで確認し、書けなかった漢字、解けなかった問題の解き直しや、日々の授業内容で理解が完全でない（単元テストの正答率が低い）内容の補充問題を行い、苦手意識の早期解消を狙う。</p> <p>【使用教材】 プリント教材</p>	<p>定着度確認テスト （区学力調査過去問題） 9月実施</p> <p>ワークテスト 集計システム</p>	<p>区の目標値通過</p> <p>当該学年学習内容の定着確認</p>			
継続	保護者への啓発	全学年	通年	<p>学習習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年×10分+10分の家庭学習時間の見守り ・家庭学習ノートの活用 ・家庭学習ノート（コピー） <p>展示期間の設定</p>	<p>児童・保護者による振り返り</p>	<p>家庭学習の習慣化（90%）</p>			
継続	東京ベーシックドリル診断シート実施	2～6年	年3回 （6月 10月 2月）	<p>【指導者体制】 担任</p> <p>【取組のねらい・目的】 学習内容定着の確認</p> <p>【使用教材】 東京ベーシックドリル</p>	<p>丸付け、学年で未定着部分の分析による学習内容定着の確認</p>	<p>最終定着度 80%</p>			
継続	六月中・保木間小学校と連携の推進	全学年	年7回 （4. 6. 9. 11. 12. 1. 2 月） 3回	<ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとの共同研究による指導案検討 ・研究授業実施 ・次年度の連携に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業を教科ごとに計画実施 ・教科や領域に設定したテーマに基づく研究授業 	<p>家庭学習の習慣化（90%）</p>			

重点的な取組事項－２		健全な心身づくり			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
体力の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・運動量確保のための活動の系統表による取り組み ・毎日の5分間運動の実施による体力向上 95%以上 			
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 早起きの達成率…90% 朝ご飯 〃 …97% 歯科治療 〃 …95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康チェックカードの活用 ・「おはよう5点」長期休業明けの取組 ・給食後の歯磨きの全校実施 ・歯磨き指導の実施 ・歯科検診後受診の促し ・6年生への「がん」教育実施 ・5年生への「AED」講習実施 			
体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「体力状況調査」結果の向上個人内上昇95%以上 ・長縄チャレンジの取り組み向上95% 	<ul style="list-style-type: none"> ・タオル体操、起立による礼、調整力を身に付ける遊びの啓発 ・2回の体力状況調査の実施 ・20分休み時間内の5分間運動 			
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の料理を取り入れた給食献立 ・給食残滓率1%台 ・親子料理教室の実施 ・各学年の食育授業実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・月1～2回の実施、事前事後にランチルーム壁面に掲示 ・誕生日給食、卒業バイキング給食 ・年3回のラッキースター給食の実施 ・親子料理教室（年間2回） 			

重点的な取組事項－3		持続可能な開発のための教育（E S D）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
現代社会における様々な（地球規模の）問題を各人が自らの問題として主体的に捉え、身近なところから取り組み、「循環型社会」づくりの意欲をはぐくむ		・コミュニケーションを行う力を身に付け、協力し合う			
項目	達成基準	具体的な方策			
世界のあいさつ	・持続可能な社会づくりの構成概念のうち、多様性の理解と認識を図る	・外国語活動を通して各国の特徴を知る。 ・2週間ごとに多様な国々のあいさつに取り組む			
各学年に応じたSDGsの目標の達成	・SDGs 4「質の高い教育をみんなに」を中心に据えた身近な活動を行う	・教科や領域のカリキュラムマネジメントを行い、多角的な活動を計画する。 ・本の読み聞かせ等から、日常生活と地球規模の課題とのつながりを考察する ・減災防災活動を通して、人権を考える			
環境学習	・SDGs 7. 13. 14. 15を視野にいれた環境学習の推進	・教科や領域のカリキュラムマネジメントを行い、多角的な活動を計画する。 ・4.5年生「今日からはじめる省エネ行動」 ・5年「夏ECO」 ・6年「キッズISO」			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）